

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」目標値

都道府県名	47_沖縄県
市区町村名	473251_嘉手納町

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値
473251_嘉手納町	②学校と地域の課題	放課後等における多様な体験活動	社会の変化に伴い、伝統芸能が衰退し、継承者がいないことが地域でも課題となっている。	放課後子ども教室事業において、見守りに加え、伝統芸能(琉球舞踊、太鼓、三線、琴、古武道)を地域の方が教える教室を開催し、ニーズが高く、待機者が出ている。	ニーズが高いが、地域の指導者の高齢化や道具の運搬、修繕など大きな課題があるため、他の分野の体験も含め、体験型の放課後子ども教室を増やすべく、地域開拓を進め、1か所追加を進める。	別地区に体験活動を主とした放課後子ども教室を開催する。	追加1か所	3	教室	4
473252_嘉手納町	②学校と地域の課題	その他	地域がうまく学校に参画できていない状況にある。学校の社会に開かれた教育課程の実現を目指すため、地域の参画が求められる。学校支援ボランティアの確保が課題となっている。	学校支援ボランティアの募集しているが、登録者の支援希望内容が偏っており、学校の要望に添える内容になっていないため、人員確保に苦慮している。また、登録者で声がかからないことで、登録をやめる方が多く、登録人員も減少してきている。	学校運営協議会で、学校運営への必要な支援について協議し、その結果を地域住民等に提案することによって、地域学校協働活動につなげるための環境を整えることができる。学校運営協議会で学校が積極的に地域と連携協働し、多くの地域住民の参画を求める。	学校と地域が連携協働し、多くの地域住民の参画による地域学校協働活動が展開できる。	学校支援ボランティアの登録数全体100名	80	人	100